

# ほんがいっぱい よんでみよう!



## ねんせい 5・6年生のための本

### ①『天才ルーシーの計算ちがい』

ステイシー・マカナルティ／著 田中奈津子／訳 講談社 《Fマ》

雷に打たれて、数学の天才になったルーシー。潔癖症で、コミュニケーションをとるのが苦手で、ずっと引きこもっていた。12歳になったある日、大学に進学できる成績をとったのに、おばあちゃんが、中学校に通って友だちをつくるように言い出して…。



### ②『引っ越しなんてしたくない!』



カーリーナ・ヤン・グレーザー／作・絵 田中薫子／訳 徳間書店 《Fグ》

ある日、バンダビーカー家にわるい知らせがとびこんできた。大家さんから、今月中にアパートを出て行くように言われたのだ。引っ越しなんてしたくない。大家さんに考え直してもらわなきゃ。5人の子どもたちは、次々と作戦をたてて実行するが、果たして間に合うのか？

ところざわ しりつところざわ としょかん  
所 沢市立 所 沢図書館 2020年

### ③『ことばハンター』

飯間浩明／著 ポプラ社 《81》

ことばハンターの飯間さんは、国語辞典をつくる人です。飯間さんは、街で見つけた珍しい文字や言葉を、書き留めたり、写真に撮ったりして、いつもことばを集めています。では、国語辞典がどうやってつくられているのか、飯間さんに教えてもらいましょう。



### ④『もえぎ草子』

久保田香里／作 tono／画 くもん出版 《Fク》

平安時代の京の都。萌黄は親がわりの叔母と別れ、大内裏の下働きをすることになる。別れ際に叔母から渡されたのは、父がつくったという「紙」。人々と言葉をつなぐ「紙」というものに惹かれる萌黄だったが、この「紙」のせいで、ぬすみの疑いをかけられてしまい…。



### ⑤『魔女の子ども』

ケリー・バーンヒル／著 佐藤見果夢／訳 評論社 《Fハ》

ネッドの母親は魔女。多くの人を魔法で助けてきた。ある日、母親は女王陛下の命を救ったことから、城に招かれることになった。ネッドは、留守の間、魔法を守ってほしいと母親から頼まれたが、母親が旅立つとまもなく、魔法をねらう山賊があらわれて…。



## ⑥『モノ・ジョーンズとからくり本屋』

シルヴィア・ビショップ／作 三辺律子／訳  
平澤朋子／絵 フレーベル館 《Fビ》

世界的に有名な書店〈モンゴメリ一本の王国〉。11歳のモノ・ジョーンズとその家族は、幸運にもこの書店を運営する権利を手に入れた。ところが、元の店主の失敗のせいで、店も全財産も大ピンチ！しかも、モノには家族に話していない秘密があつて…。



## ⑦『わきだせ！いのちの水』

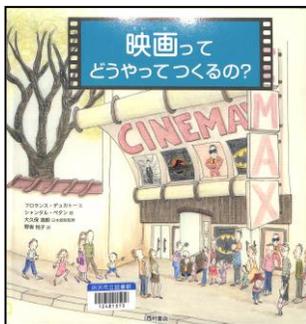
たけたにちほみ／著 フレーベル館 《51》

アフリカには、にごった水しか飲めない人々がいる。そんな人たちの役に立ちたいと、日本の伝統的な井戸掘り技術「上総掘り」を学び、アフリカへ旅立った大野篤志さん。数々の困難を乗り越え、現地の人に技術を伝えていく大野さんの支援活動の記録。

## ⑧『映画ってどうやってつくるの？』

フロランス・デュカトー／文 シャンタル・ペタン／絵  
大久保清朗／日本語版監修 野坂悦子／訳 西村書店 《77》

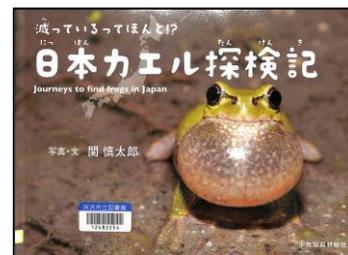
スクリーンに映し出されるサスペンス、ホラー、SF、アニメ…。100年前には色も音もなかった映画は、より鮮やかに、ドラマチックに想像の世界を描くため、さまざまな工夫を重ねてきました。さあ、そんな映画製作の舞台裏を見にいってみましょう。



## ⑨『日本カエル探検記』

関慎太郎／写真・文 少年写真新聞社 《48》

日本には、48種類ものカエルが住んでいるんだ。美しい鳴き声のカジカガエル、ウロの中で子育てをするアイフィンガーガエル。いろいろなカエルのふしぎを一緒に探してみよう。



## ⑩『しずかな魔女』

市川朝久子／作 岩崎書店 《Fイ》

学校はきらい。行けない自分はずっときらい。草子にとって図書館は居心地のよい居場所だった。ある日、図書館の人が「しずかな子は魔女に向いてる」と教えてくれた。どういう意味？渡されたのは、まぶしい夏休みの物語だった。

## ⑪『キバラカと魔法の馬』

さくまゆみこ／編訳 岩波書店 《M》

キバラカという男が魔神にさらわれた。魔神は「城のどの部屋を見てもよいが、地下室だけはあけてはならぬ」と言って出ていった。キバラカは、どうしても地下室が見たくなり…。ふしぎな話を集めたアフリカの民話集。

## ⑫『自由への道』

池田まき子／文  
学研プラス 《28.9》

160年ほど前のアメリカには、400万人もの黒人奴隷がいた。ハリエットもそのひとり。6歳から働かされ、失敗すると、むち打ちの罰がある。「黒人が奴隷だなんて、だれが決めたの？」自由を求めた命がけの逃亡作戦が始まる！

## ⑬『冒険者たち』

斎藤惇夫／作 数内正幸／画  
岩波書店 《Fサ》

嵐の夜、ガンバたちの宴会に血まみれの島ネズミがあらわれた。島ネズミがイタチに襲われていて、助けを呼ぶために命がけで脱出してきたのだ。島ネズミを救うため、ガンバたちは立ち上がった。